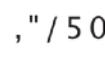
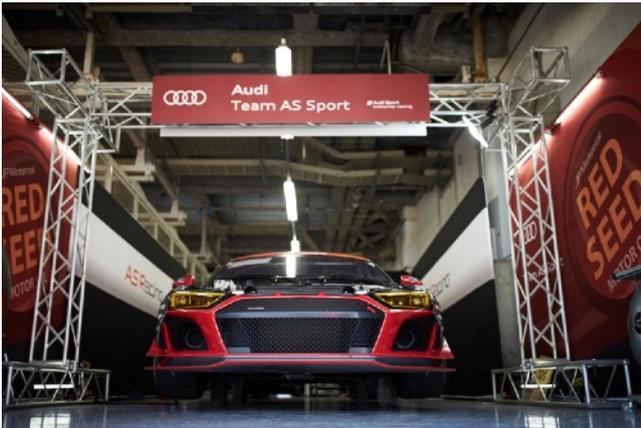


# ENEOS スーパー耐久シリーズ 2022 powered by Hankook スーパー耐久in鈴鹿 レースレポート

2022年11月26日 (予選) 晴れ/DRY

2022年11月27日 (決勝) 晴れ時々曇り/DRY





2022年の集大成とも言える最終ラウンド鈴鹿戦。ここまでセットやアクシデントに苦しむような走りが出来ずに苦しい戦いを余儀なくされているAudi Team AS Sport。これまでの鬱憤を晴らし良い形で最終戦を締めくくりたい思いで臨んだ。

## ◆ 予選

Aドライバーの岡本選手の予選アタック。前日の走行では赤旗中断が多く発生し走行時間も少ない中での久しぶりのコースということもありレースウィークベストは更新するもクラス6番手で予選を終えた。

Bドライバーの加賀美選手もコースに馴染めるまで時間を要しレースウィークベストタイムは出せたがクラス6番手での予選となった。

Cドライバーの田ヶ原選手は決勝シミュレーションを中心としたメニューで危なげないタイムで予選を終えた。

## ◆ 決勝

11月後半とは思えない秋晴れで迎えた決勝当日。RED SEED R8 LMS GT4のスタートドライバーは加賀美選手が担当。スタート直後にFCYが入る荒れたレースになりスタート1時間前後でFCYからSCが導入された。RED SEED R8 LMS GT4はこのタイミングでスプラッシュのみ行い加賀美選手が約2時間弱のロングスティントするも単独スピンドリアがスポンジバリアに接触。40LAP地点で岡本選手とドライバーチェンジを行いマシンチェックをし大きなトラブルもなくピットアウト。その後周回を重ねるが15LAP前後でギア温度上昇し加速しないとの無線で大事をとって

チェックのためピットイン。約20分の整備を行い加賀美選手と交代しコースに復帰。その後マシン状態を確認しながら周回を重ね残り時間60分を切ったところで岡本選手とドライバーチェン



ジ。完走は果たしたもののクラス7位での  
チェッカーとなった。  
最終戦の鈴鹿ラウンドと言うこともあり多くの  
スポンサー様やお客様を迎え、チーム一丸  
となって決勝レースに挑みましたが苦しい展  
開となりました。今シーズンも多くの皆様に  
支えられ無事に終わることができ感謝申し上  
げます。1年間ありがとうございました。

◆ レース公式予選リザルト (A,Bドライ  
バー合算) ST-Zクラス8台出走  
RED SEED R8 LMS GT4  
4'35.738 クラス 7位

◆ レース公式決勝リザルト ST-Zクラス  
7台出走  
RED SEED R8 LMS GT4  
99LAP クラス 7位

---

チーム代表兼Cドライバー  
田ヶ原 章蔵

最終戦も厳しいレースでしたが、チーム一丸で挑ん  
だ結果です。結果だけではなく、沢山の学びも  
合ったと思います。まず、1年間無事に参戦出来た  
事に感謝申し上げます。沢山のご支援、ご協力、  
応援、本当にありがとうございました！

チーム監督  
澤田 栄宏

多くのお客様やスポンサー様に来て頂いていたの  
で良い走りを見せたかったのですが、荒れたプ  
ラティクスで走行時間が大幅に削られたり、マシ  
ントラブルもあり完走は果たせなかったものの結果的に

は物足りないレースとなってしまいました。1年間チーム、関係者様、スポンサー様含め関わって頂いた皆  
様のおかげでシリーズを終えることができ本当にありがとうございました。今後もAudi Team AS Sportを  
応援をお願いします！

エグゼクティブテクニカルディレクター

茂 貴恒

最終戦の鈴鹿は、予選・決勝とアクシデントにより赤旗、FCYの発動が多いレースでした。

レース中盤、マシントラブルはありながらもコースアクシデントに巻き込まれず、完走できてよかったと思います。個人的な感想になりますが、2022年スーパー耐久レース「RED SEED Audi R8 LMS GT4」を無事に走らせてくれたメカニックをはじめ、全ての協力者様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

Aドライバー

岡本 武之

鈴鹿を走るのも久しぶりでR8での走行は初だったこともあり、金曜のフリー走行では感覚がつかめず苦労しましたが、加賀美君のアドバイスもあり少しずつ思い出すことができました。予選はニュータイヤを使いこなせずタイムを縮めきれませんでした。決勝はトラブルによるスロー走行や修理もあり完走するのが精一杯という結果でしたが、一年間多くの方に応援やご協力を頂き、ありがとうございました。

Bドライバー

加賀美 綾佑

最終戦ということもあり、金曜日のフリー走行から全体が荒れた展開となりました。

その影響で走行時間が短くなり、予定していたメニューがこなせなかった上に、僕自身は実質7周程度しか走行ができませんでした。その状態で迎えた土曜日。ウォームアップ走行の1時間でなんとか良いセットを見つけ、そのまま予選に臨みました。今できることは出せましたが、結果は2分15秒493で7位に終わりました。序盤から荒れた展開となった決勝。1周目で1台をパスしたものの、ジリジリと前を空けられる展開に。その後は順調に周回を重ねていましたが、1回目のドライバー交代の後、ミッションオイルがオーバーヒートしてしまうトラブルで戦線を離脱してしまいました。

結果完走はできたものの、クラス7位でレースを終えました。限られた時間の中で波に乗り切れなかった週末でしたが、これも経験の一つとしてドライバーとして更に成長していきたいと思います。1年間応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。